

事業評価シート

事務事業名	学校交流事業	担当課名	学務課
総合計画の 主要施策名	学校間交流	班 名	学務班
		事業コード	4241

事業の目的	・旧町村間の交流に加え、各分野において第一線で活躍している人たちとの交流により、子どもの視野を広げる。・効果的な進路指導と学力向上意欲の増進を図る。・農村部と都市部の交流を通じ、児童の豊かな人間性や社会性を育む。			
事業の内容	・ドリーム体験！ほんもの講座の実施 ・中学校学習交流会の実施 ・都市農山村子ども交流の実施			
事業の対象	・ドリーム体験！ほんもの講座・・・7小学校5・6年生、3中学校1・2年生 ・中学校学習交流会・・・3中学校3年生 ・都市農山村子ども交流・・・千屋小学校4・5・6年生、東京都港区立御田小学校4・5・6年生			
事業費	年度・区分	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度予算
	金額	1,208 千円	6,060 千円	2,532 千円

事業の効果等	・クラシック界の第一線で活躍している青島広志先生を講師に迎え講座を実施し、子どもの視野をより広い世界へ向けることができた。 ・効果的な進路指導により学習に対する意欲が増すとともに、お互いに刺激し合うことにより向上心の醸成が図られた。 ・異なる文化や社会、価値観の存在を理解し尊重する態度や、自他の違いを認識し、互いの協調を図りながら、共に生きようとする態度が育成された。
--------	---

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	・第一線で活躍している人たちとの交流により、子どもの視野が広がった。・効果的な進路指導により、生徒の学習意欲が増し向上心の醸成が図られた。・多様な直接体験を通して、児童の物の見方や考え方、感じ方が深まり、感性も豊かになった。今後も、児童生徒の希望を考慮し、より厳選した講師を招聘していきたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり
------	---	--------	----------